



神奈川大学  
フロンティアクラブ会報  
第 44 号

発行日 2025年12月26日  
編集・発行 神奈川大学フロンティアクラブ  
組織・広報専門委員会  
事務局 神奈川大学 総務部校友課内  
〒221-8686  
横浜市神奈川区六角橋 3-27-1  
TEL.045-481-5661(代)

留学生・日本人学生・卒業生が  
集う交流の輪

横浜北宮陵会と共催で  
バーベキュー大会を開催しました

2025年11月15日(土)、秋晴れの穏やかな空の下、横浜北宮陵会との共催によるバーベキュー大会を玄海田公園で開催しました。広々とした芝生と澄んだ空気に包まれた会場には、本会から春原正三郎会長、小林二三夫副会長をはじめ、多くの

今年18名の留学生が参加し、

様々な国々から集まった学生たちが、言語や文化を越えて積極的に交流しました。会員が用意した日本ならではの食材にも留学生は興味津々で、焼き上がった料理を囲みながら会話が自然と弾みました。

特筆すべきは、今年から日本人学生の募集を開始し、新たな取り組みとして成功した点です。留学生、日本人学生、卒業生と一緒に活動することで、世代も国籍も越えた3つの輪が一つにつながり、より充実した交流が生まれました。日本人学生が留学生へキャンパス生活のアドバイスを送る場面も見られ、相互理解を深める貴重な時間となりました。

今回のバーベキュー大会は、食を介した交流の力を改めて感じられる温かいイベントとなりました。参加者からは「来年もぜひ参加したい」という声が多く聞かれ、心地よい余韻を残しながら閉会しました。今後も、多文化が共に学び合いい、つながりを広げる場として、さらなる発展が期待されます。



BBQ交流会の集合写真 11月15日(土) 玄海田公園にて

# ”挑戦“を合言葉に、 クラブの新たな 歩みを進めます

皆様におかれましては、日頃よりフロンティアクラブの活動に温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。ありがとうございます。

本年もフロンティアクラブは、母校発展への寄与を旨とし、多くの事業を展開してまいりました。なかでも「フロンティアサロン」につきましては、9月と11月の2回にわたり開催し、いずれも大変有意義な機会となりました。

9月には、株式会社コレリア

ンドアトラクト代表取締役であり会員でもある松本慶大氏を講師にお迎えし、生成AIが宿泊業界にもたらす革新とその可能性について講演いただきました。産業構造が変化するなかで、AIをどのように活用し、ビジネスの新たな価値を創出していくか、未来に向けた示唆に富むお話しでした。

11月には、学校法人神奈川大学の石渡卓理事長（本クラブ会員）より、2028年の神奈川大学創立100周年とその先に向けた展望についてご講演を賜りました。大学が迎える大きな節目に向け、私たち卒業生クラブがどのように関わっていくのか、深く考える契機となったことと思います。

お二方の講演にも共通していたのは、「時代を先取りする姿勢」の大切さです。まさにフロンティアクラブの名が示すとおり、私たち自身がフロンティア

アスピリッツを持ち、母校とともに新しい未来を拓いていくことこそ、変化の激しい時代に求められる姿勢ではないでしょうか。  
また、本年も恒例の箱根交流会を開催し、活気ある楽しいひと時となりました。会員の皆様からの心温まる差し入れのおかげで、より和やかな雰囲気が生まれたことに深く感謝申し上げます。

さらに12月には、故・村橋三好氏のご遺志を受け継ぐ「村橋・フロンティア奨学金」の採用証授与式が行われ、10名の学生に対し支援を行うことができました。未来を担う学生たちの成長を後押しするこの取り組みは、フロンティアクラブの存在意義そのものであると感じております。

後のページにて学生一人ひとりの感謝の気持ちをいただいておりますので、ぜひご一読ください。村橋氏の精神を未来へつないでいく取り組みとして、今後も大切に育ててまいります。

来年度も、フロンティアサロンの開催をはじめ、寄付者の顕彰制度など独自の施策を一層充実させてまいります。会員の皆様におかれましても、母校の発展と学生支援のため、今度とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



神奈川大学フロンティアクラブ会長

## 会長 春原 正三郎

## フロンティアクラブ新規入会者ご紹介



大林 廣文

1987(昭和62)年 経済学部経済学科卒

1963年6月生まれ、神奈川県横浜市出身の1987年3月経済学科卒の大林廣文です。

横浜で生まれ、目黒に住んでいた時、都立赤城台高校を卒業し、神奈川大学経済学部経済学科に入學しました。マクロ経済の石崎昭彦先生のゼミに入りました。石崎ゼミは当時のゼミ中ではかなり活発に活動していたゼミで、先輩との勉強会、経済のテーマで議論する全国大会にも出場して、他大学と交流を楽しみながら、勉強が出来るようになりました。クラブは英語研究部(ESS)に入り、様々なイベント、他大学との交流と充実した学生生活を過ごすことが出来ました。

神大を卒業して、米国BURNDY社と古河電工、住友電工の資本が入った日本バーンディ株式会社に入社し、電力業界向部品、工具の営業で日本中を駆け回りましました。また、激動の電力業界を経て、現在の会社は古河電工の1

### 企業紹介

古河電工パワーシステムズ株式会社(FEPS)は、送配電システム機材などの設計・製造を手掛け、発電所から需要家まで電力網全域を支える総合電力機材メーカーです。

## 村橋・フロンティア奨学金授与式を開催 文理10名へ給付

今年度の村橋・フロンティア奨学金授与式が、12月24日(水)に行われました。今年度は文系5名、理系5名の計10名の学生が採用され、支援を受けることとなりました。授与式では、選ばれた奨学生から喜びと感謝の言葉が述べられ、それぞれが今後の学修への意気込みを語りました。本記事では、奨学生の代表謝辞を紹介し、彼らが抱く将来への思いをお届けします。

法学部法律学科1年

服部 日翔

### 感謝を胸に、法曹の夢へ

この度は、「村橋・フロンティア奨学金」に採用いただき誠にありがとうございます。私には将来、法曹として人々の生活に安定と安心感を与えられる社会を作りたいと言う夢があります。

ご支援してくださる皆様のおかげで、私は将来の夢を叶えるべく、資格の勉強に集中することが出来ます。本当にありがとうございます。

私は、母と弟の三人家族で、ひとり親家庭出身ということもあり、学費、生活費の多くを日本学生支援機構の給付型奨学金で賄っています。今までは資格の勉強に充てる資金を確保するためにアル

れと共に、奨学生の名に恥じないように、自分の最良を尽くして精進していく所存です。本奨学金に志望した理由としては、高齢で家計を支える父親の負担を減らしたいからです。本奨学金をいただいたことにより、アルバイトと学業との兼ね合いのバランスを取りながら、自分の将来性を磨いていきます。

私は高校時代から様々な社会問題に対して関心を持ち、その解決可能性を考えてきました。そんな中で、解決策として最も有効で広範囲に効力を及ぼせるものとしては、行政機関の行動と法律の活用だと考え、法律を武器にしてこれらの問題に取り組んでいきたいと考えました。

そのため、将来、弁護士として弱い立場に立つ人々が適切に権利を主張できるように、彼らの声を代弁する存在になることを志しております。

これを実現するためには、法的な専門知識はもちろん、人々の異なる立場を理解し、有効な情報提供や主張をするには、様々な経験をし、多面

多角的な考え方を身に付けなければならなりません。また、幼少期に海外で生活した経験に加え、日本の労働力不足に伴う外国人増加の現状に対して、私は語学力もとても重要だと感じました。英語力のさらなる向上に向けて自主的に取り組み、TOEICなどの資格に応じた学習はもちろん、実際にコミュニケーションを取れるようにスピーキング力も鍛えております。

法的専門性については、学内における講義での学びに加え、参考書などを用いて知識の固着や活用を進めています。また、実際の実務における条文の解釈や法律の適用を体感するために、現在は法律事務所所でアルバイトをし、経験を積み重ねております。

私は専攻に専念しながら、課外活動にも積極的に参加し、大学生活を通じて、これから残りの在学期間を有効に配分していきます。

今後は、村橋・フロンティア奨学生としての自覚を持ち、感謝の気持ちを胸に刻みながら励み、支援していただいた

方のご期待に添えるように大学生生活を送っていきます。

経済学部経済学科1年 志村 結伽

**父の想いを胸に、教育の道へ**

この度は、村橋・フロンティア奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。多くの志願者の中から選んでいただいたことに、心より感謝申し上げます。

私は、経済学部在籍しており、教職課程も履修していません。将来は、社会科の教員として、生徒一人ひとりに寄り添いながら、学ぶことの楽しさや社会の仕組みを伝えていきたいと考えています。しかし昨年、父が病気で急逝し、家庭の経済状況は大きく変化しました。私もアルバイトを続けていますが、学費や生活費を十分に賄うことは難しく、不安を抱えています。今回のご支援により、学業に集中

できる環境が整い、大変ありがたいと感じております。奨学金は教材費や資格試験に充て、大切に活用させていただきます。

大学では、教職課程を通じて知識を伝えるだけでなく、生徒への関わり方や授業づくりを学び、教師として必要な姿勢を身に付けていきます。中学・高校時代にお世話になった先生方の姿が、私の進路を決める大きなきっかけとなりました。困っているときに声をかけてくださった先生方のように、生徒の気持ちに寄り添い、前向きな成長を支えられる教員になりたいと強く思っています。

日々、人の関わりを大切に、相手の気持ちに寄り添う姿勢を大切にすることを心掛けていきます。卒業後は社会科教員として教育現場に立ち、生徒一人ひとりの未来に寄り添いながら、社会に貢献できる人材を育てていきたいと考えています。さらに、地域や社会とのつながりも重視し、広い視野で教育に携わりたいと考えています。また「報恩、

バイトに励んでいました。しかしながら、この度、「村橋・フロンティア奨学金」に採用いただいたことにより、生活面に僅かなゆとりができ、将来の明確な夢に向かって様々な勉強、経験を積むことができそうです。

過去には、新型コロナウイルス感染症の後遺症に悩まされ、高校卒業後すぐには進学ができず、同世代の大学生が楽しそうにキャンパスライフを送る姿を横目に清掃のパート従業員として自宅近くの大で働いていました。その様な環境の下でも周囲の人に恵まれ、励まされながら昨年11月に学生支援の充実した神奈川大学進学を決意し、本校で一つでも多くの知識を手に入れようという覚悟を持って21歳になる年に関西から進学して参りました。

これからの人生は「村橋・フロンティア奨学金」設立の精神である「報恩、感謝、功德」を基礎として生きていきます。

そして、いつか人生を通じて学んだこと、経験したこと

を若い人たちに伝えることにより、これからの社会に貢献していきたいと考えています。また、沢山の方から受けたご恩をお返しできるように、残りの大学生活は、村橋・フロンティア奨学生としての自覚を持ち、今までより一層勉学に精進してまいります。この度はありがとうございます。

法学部法律学科1年 鈴木 佳音

**裁判所事務官という夢への決意**

この度は、奨学生に採用していただき誠にありがとうございます。数多くの志願者の中から選出していただき、光榮に思います。ご支援いただいた皆様の期待に応えられるよう、奨学金は学費や教科書代に充て、日々勉学に励んでいきたいと思っております。

私の弟は、知的障害を抱えており支援が必要な状況であ

るため、支援の充実した私立高校に通っています。しかし、母子家庭で母も持病を抱えているため収入は安定せず、学費が家計の大きな負担となり、私の大学費用を捻出することが難しくなっていました。大学入学の際には、祖母や社会福祉協議会の支援を受けることで無事に入学することが出来ました。大学入学後は、家族の負担を減らすためにアルバイトに勤しんでいます。が、学業との両立が難しく学費や生活費を補えるほど働くことが難しい状況です。

そのような中で、村橋・フロンティア奨学金の奨学生に採用していただいたおかげで、アルバイト代を家族のために使うことができると同時に、学業の時間をしっかりと確保出来るようになりました。また、私は中学生の頃から裁判所事務官になりたいと考えていました。ですが、これ以上母や祖母の負担を増やしたくないという気持ちや、経済的理由から諦めるべきか悩むことも多くありました。しかし、この度奨学金をいただけたこ

とで、諦めず夢を叶える決心をすることが出来ました。責任感を持ち、円滑な裁判の進行を支えることのできる人材になれるよう、来年度からは大学の公務員養成プログラムに参加して専門的な知識を学び、より一層勉学に励むだけでなく、大学生活を通して経験や知識を蓄え、それらを活用出来るように日々取り組んでいきたいと思っております。

今後、支えてくださっている周囲の方々への感謝を忘れずに村橋・フロンティア奨学生として「報恩・感謝・功德」の精神を胸に刻み、日々精進していききたいと思います。

法学部法律学科2年 松ヶ瀬 悠

**支援に応えるために 学業・経験・語学を 磨き続ける**

この度多くの志願者の中から私を選出していただいたこと、大変光榮に思います。こ

感謝、功德」の精神を胸に、今回頂いたご支援を将来必ず社会に還元していきます。今後は、村橋・フロンティア奨学生だという自覚と感謝の気持ちを持ちより一層、学業に専念し、自分自身が成長できるよう努力していきます。

外国語学部英語英文学科1年

稲葉 沙月

支援が芽吹かせた

挑戦する勇氣

この度は奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。私が生きる上で道標の一つとしている考え方に、「置かれた場所で咲きなさい」というマザーテレサの言葉があります。私はこの言葉を、置かれた状況に甘えて努力を怠ったり、諦め悲観して自分が成長できない理由をその環境のせいにするのではなく、前向きに、そしてひたむきにどうすればできるのかを考え、その方法を模索し続け

る姿勢を持ち続けること、だと解釈しています。この考え方のもと、私はどのような状況にあっても悲観せず、常に自分ができることを探し挑戦することを心掛けてきました。しかし現在の私の金銭事情として、私の両親に学費を負担してもらっていますが生活費は全て自身で賄っているため、生活全般に大きな不安を抱える状況であり、そのことが積極的な挑戦への障壁となっていました。そのため今回採用していただいたことにより、今までよりも多くのことに挑戦する機会を得ることができると、心より嬉しく思っています。この機会を決して無駄にすることなく自身の成長に繋げられるよう、日々精進してまいります。

私は現在、学校の教育現場で生徒たちに関わる仕事をしたいと考えています。今の私があるのは、これまで関わってきた多くの方々のおかげで、特に高校までの先生方の影響が大きかったと感じています。だからこそ、私自身もそのように、誰かの人生の一助とな

れる人間へと成長し、そのような職に就きたいと考えています。そのためにより多くの経験を積み重ね、知見を広げていく所存です。最後に改めまして、「村橋・フロンティア奨学金」に採用いただいたこと、心より感謝申し上げます。奨学生に採用していただいたご恩に少しでも報いることができよう、努力を怠ることなく日々精進してまいります。

工学部機械工学科1年

唐澤 万葉

学びの基礎を固め、

夢の航空宇宙工学へ

このたびは、村橋・フロンティア奨学金の奨学生に選出していただき、誠にありがとうございます。通知をいただいた際には大変驚きましたが、それ以上に大きな喜びと感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。日頃取り組んでいた学業への姿勢がこのよう

形で評価され、背中を押していただけたことは、今後の学修に向けて大きな励みとなっております。

私は現在、大学で機械工学を学んでいます。そして、将来的には航空宇宙工学を学びたいという思いを以前から持っており、その目標を見据えながら日々の学修に取り組んでいます。現在の専攻分野で得られる知識や考え方は、将来新たな分野へ進む際にも必ず生かると考えており、基礎を大切にしながら幅広い視点を身につけるよう意識して学んでいます。専門外の内容に触れることで、自分の興味や関心がどのように広がっていくのかを知る良い機会にもなっており、これらの経験を将来の学びへ確実につなげていきたいと思っています。

今回、このような名誉ある奨学金に選んでいただいたことは、私にとって大きな転機となりました。奨学生として認めていただいたことへの感謝を忘れず、学ぶ機会をいただいた責任を自覚しながら、これまで以上に学問に真摯に

向き合っておりません。今後は、自分の興味のある分野に向けて準備を進めるとともに、大学での学びをより深め、将来につながる基盤をしっかりと築いていきたいと考えております。

最後になりますが、このような貴重な機会を与えてくださったフロンティアクラブの皆様、改めて深く御礼申し上げます。いただいたご支援を励みに、これからも誠実に努力を重ねてまいります。期待に応えられるよう、一歩一歩着実に成長していく所存です。本当にありがとうございます。

工学部電気電子情報工学科1年

別當 映彩

金銭的不安を乗り越え描く、

未来の製品開発への道

この度は「村橋・フロンティア奨学金」に採用していただき、ありがとうございます。心から感謝申し上げます。懸

念してきた金銭面の問題を解消できました。この奨学金の名に恥じぬよう、これまで以上に神奈川大学生として自覚ある行動を日々心掛け、向上心を持って何事にも取り組んで参ります。

私は、学びたい学部と部活との両立が可能な本学を目指して、九州より入学しましたが、私の進学と父の大病が重なってしまいました。家族の一大事の時期に、自分の志を貫いていいものか悩みましたが、両親は「あなたの人生活です。頑張らなさい。」と私の夢を応援し、送り出してくれました。そんな両親のためにも、少しでも負担を掛けたくない

と、バイトを始めてみたものの、学業と部活とバイトのスケジュールは計算上では完璧でも、現実はその間に甘くなく、心が折れそうになっていました。そんな時に「村橋・フロンティア奨学金」の告知を発見。藁をも掴む思いで申し込みをした次第です。頂戴する奨学金は学費に充てさせていただきます。

将来は、地球に負担をかけ

ず快適に豊かな暮らしを、未来の世代へと引き継げるように、サステナブル社会を目指す製品を開発したいと熱望しています。更には、販売に至るまでの過程にも携わりたいと考えています。そのために、経営工学科との分野横断プログラムである「生活・環境デザイン工学プログラム」を是非とも受講したいと思っています。そこで現代社会の問題点を見つけ出し、どのように製品を開発すべきなのかというフローチャートを学びたいです。そして、できることから大学院へ進み、その地球のためになる製品が何なのか、更なる高みへと挑戦してみたいです。

このように、夢や希望を語るのもこの奨学金のおかげです。感謝の気持ちを忘れずに、これまで関わってくださった方々と、この先お世話になる人々にも恩返しができるように、より一層精進して参る所存です。

化学生命学部生命機能学科1年

田村 七海

語学と研究で世界へ

挑むための大きな一歩

この度、数多くの志願者の中から村橋・フロンティア奨学生に採用していただいたことを心より感謝申し上げます。

私は、将来の夢について模索している中、神奈川大学という多くの学部が備わっているからこそ様々な分野について学べるのではないかとこの思いで大学生という新しい扉を今年の4月に開きました。

当時は不安と楽しみが交じり合っていました。その不安というのは、新しいことを始めてみようと思ったとしても、どれにもお金がかかってしまい行動に移すことに躊躇してしまっていたことです。しかし、研究をやりたいという思いは高校生のころから変わっていませんでした。そのような中、村橋・フロンティア奨学生として採用していただいたことで経済的心配事を減らすことができ、また自信にも

繋がり将来に向けて全力で励むことができるようになり、将来の道について考えることが楽しくなりました。

本奨学金は学費と語学の勉強のために使わせていただきありがとうございます。神奈川県に通っている間に私にとって一番学びたいと思うこと、将来進むべき方向を見つけ出します。また、3年生になった際に、私の将来の夢に一番近づけることができる研究室に所属するために現在のGPAでは満足せず、よりGPAを高めることを意識しながら日々勉学に励んでいます。

語学については資格試験を受けると共に英語力の向上に力を入れていこうと思っています。現在、語学の勉強では外国語は必修の授業のみで取り組んでいます。より語学の勉強に励むため、英会話教室に通い日常で使うことができ段々向上させ、また英語で書かれてある論文を読める程度まで英語の読解力をあげていきたいと考えています。また、大学在学中もしくは卒業後に留学をし、それまでに

はなく家庭からも助けてもらい補えています。そのため、この先負担が大きくなってしまうため、今後の学費に充てさせて頂きたいと考えています。

### 異文化の中で育まれた「理解する力」を、 「未来の仕事へつなぐ」

情報学部システム数理学科2年

カン サークル

このたび「村橋・フロンティア奨学生」に選んでいただき本当にありがとうございます。最初に通知をいただいたときは驚きと同時にこれまで努力してきたことが認められたように感じ、大きな励みになりました。家計の状況から

学んできた英語力がどのくらい海外で通用するのかを試し、実践していき、まだ足りない部分を確認したいと思っています。なぜなら、英語力を高めることにより、世界で活躍されている方々からの知見を取り入れ、より良い世界を作るため、また将来に地球上で生きていく生物が生きやすいような製品を開発したいと思っています。

最後に、今まで高校受験から大学受験まで経済的に余裕がない中で、私に充実した勉強をさせてくれた両親や祖母に恩返しの一歩が踏み出せたことを大変嬉しく思っています。また、周りの方々への感謝を忘れず、大学在学中から大学を卒業してその先の未来でも皆様の期待に添えるようそして私自身が描いていた研究を行えるよう努力していきます。

学費や生活費に不安を抱えることがありアルバイトと学業の両立に悩む場面も多かったため今回のご支援は自分にとって非常に心強いものです。

僕は現在神奈川大学で情報学・システム数理の分野を学んでいます。プログラミングやデータ分析など学ぶ内容はどれも興味深く将来の可能性を強く感じています。しかし一方で専門書の購入やソフトウェア環境の準備など学びを深めるうえで必要な費用も多く、日々の生活と両立させることに負担を感じることもありました。今回の奨学金によって学業により集中できる環境が整い本当に感謝しています。

僕は外国籍の学生として日本で育ち、またイスラム教徒として日常生活の中で自分の信仰と向き合ってきました。文化や宗教が異なる環境で過ごしてきた経験は自分の価値観を大きく広げてくれたと思います。大学の授業やグループワーク

化学生命学部生命機能学科1年

和智 心響

### 奨学金が支える 「進路探究」と 「経済的不安からの解放」

数多くの志願者の中から採用していただき大変光栄に思います。これからは奨学生という自覚と責任感を持ち、より一層勉学に励んでいきます。私が申請した理由としては、家庭の負担を少しでも軽減したかったからです。私の家庭は母子家庭であり、現在高校2年生と中学2年生の妹がいます。妹達にも進学の意味があり、2年後には家庭により多くの負担がかかるため私自身もアルバイトをはじめ、少しでも負担がなくなるようにと思いましたが限界があり悩んでいました。しかしやりたいうことができないという理由がお金の問題を理由に諦めることはしたくないと考えていた時に「村橋・フロンティア奨学金」に採用していただいた事でより前に進む決心ができました。

私は将来進みたい道が明確に決まっていたわけではなかったため、大学に進学することややりたいこと、職にしたことを見つける手がかりになると考え進学しました。その中で、神奈川大学の化学生命学部の化粧品系に興味を持ち入学しましたが、授業を受けていく中で植物・バイオ系にも強く惹かれています。この今しかできない悩みを大切にし、真剣に考え将来職にしたいことを探したいと思っています。また、採用していただいたことで大学院も視野に入れることができていることです。

化学生命学部は将来進める道が多いため、大学院という選択肢ができてさらに選択肢が多くなりましたが、その分色々な分野の将来が見えてこれからは楽しみで仕方ありません。

でも多様な背景を持つ人と協力することが多く、その中で「相手を理解する姿勢」が自分の強みになっていくと感じています。

今後は大学での学びをさらに深め、特にデータサイエンスやシステム開発の分野で専門性を高めたいと考えています。3年生からのゼミ活動や卒業研究では自分の興味を生かしつつ社会にも役立つテーマに取り組みたいです。将来的にはIT分野で働き、データを活用したサービスや仕組みづくりを通して社会に貢献できる人材になることを目指しています。

今回の奨学金をいただいたことは自分にとって大きなチャンスです。この機会を無駄にせず学業に真摯に取り組み、努力の成果を必ず形にしていきたいと強く思っています。支えてくださった皆様への感謝の気持ちを忘れず今後も成長を続けていきたいです。



横浜キャンパスの風景 (8号館 今むかし)

# 写真で振り返る今年の神奈川大学ホームカミングデー

2025年11月2日(日)、神奈川大学横浜キャンパスにて第31回ホームカミングデーが開催されました。石渡理事長、戸田学長のあいさつを皮切りに、多くの卒業生が参加しました。今年はお子様連れの来場も目立ち、参加者は懐かしいキャンパスで思い思いの時間を過ごしました。



オープニングセレモニーにて登壇した石渡卓理事長



オープニングセレモニーの様子



サバイバルゲームサークルによる射的



チアリーディング部の学生ステージ発表



応援フラッグへの寄せ書き



屋外の物販コーナー



神大マスコットキャラクター「JIN&KANA」・愛媛県イメージアップキャラクター「みきゃん」フォトスポット



鉄道研究部によるプラレール展示



KU オトナ写真部による「神大三十六景」



創立者米田吉盛先生の故郷である愛媛県の物産展

# 事務局からのお知らせ

## 神奈川大学フロンティアクラブでは、公式LINEの運用をしています！

フロンティアサロンや施設見学会、交流会などお得な情報をお送りしますので、ぜひ友だち登録をお願いします！



友だち追加は隣の画像をクリック！▶

## メールアドレスの収集について

フロンティアクラブから郵送している各案内資料や卒業生の活躍、大学の情報等を会員の皆さまにメールで、いち早くお届けしたいと考えています。メールアドレスの収集にご協力をお願いいたします。メールをお使いの方は、以下のメールアドレスに氏名をご記入の上、お送りください。また、メールアドレスを変更された場合にも、お知らせいただきますようお願いいたします。

【メールアドレス】 kufc-frontier@kanagawa-u.ac.jp

## 2026年度神奈川大学フロンティアクラブ定時総会の開催について

**開催日時** 2026年2月14日(土)  
14:00～(予定)

**開催場所** 神奈川大学横浜キャンパス

当日のスケジュール

### I部 総会

- 2025年度事業報告および決算
  - 2025年度委員会報告
  - 2026年度事業計画(案)
  - 2026年度予算(案)
  - 会則改廃について
  - 役員改選
  - 大学の現況について
- 石渡 卓理事長、戸田 龍介学長

### II部 講演会

### III部 懇親会



## 建築サークルの紙管建築が大阪・関西万博にて展示

大阪・関西万博において、建築サークル KAI はトイレットペーパーの芯を再利用した展示作品を発表しました。大量の紙素材を組み上げた構造体で、折りたたんで分解すると、小型バンよりひと回り大きい商用ワンボックス車の荷室がほぼ埋まってしまうほどのボリュームになります。廃材を建築表現へ生かす学生の挑戦として注目されています。



# JINDAI SPORTS

「神大スポーツ」では、体育会・文化系問わず、課外活動で活躍する学生や指導者たちの最新記事を掲載!学内のみならず、広く国内外で活躍する神大生の情報をお届けします。



最新情報はこちら